

# 【プロトコル】クロモカルトコリフォーム寒天培地の作成

## 改訂履歴

- ✓ 2025年7月14日：米田一路
  - v1.1：一部修正.

## メモ

- ✓ 2025年7月14日現在，培地の節約のため，どんな目的であれ大シャーレ1枚に分注する培地の量は10 mLにしています．：米田  
<https://www.merckmillipore.com/deepweb/assets/sigmaaldrich/product/documents/254/467/eam176-1106-ccagar-mk.pdf>（製品リンク）
- ✓ 調製した培地は最大6か月間冷蔵保存できる.

## 用意するもの（1L作成時）

- ✓ クロモカルトコリフォーム（26.5 g）
- ✓ MiliQ-Water（1L）
- ✓ メスシリンダー×1個
- ✓ 薬さじ×1個
- ✓ オートピペッター
- ✓ ピペット（10mL以上）×1個
- ✓ シャーレ
- ✓ 三角フラスコ×1個
- ✓ 攪拌子×1個
- ✓ ヒートスターラー×1個
- ✓ アルミホイル
- ✓ パラフィルム
- ✓ ジップロック

- ① 三角フラスコに，クロモカルトコリフォーム 26.5 g（1L作成時）を薬さじで取り分ける．このとき，大腸菌等に汚染されていない薬さじ（洗剤等で洗浄後に超純水でゆすいだもの等）を使用する．
- ② MiliQ水 1Lをメスシリンダーで測り取り，培地の入った三角フラスコに入れる．
- ③ 培地の入った三角フラスコに，攪拌子を入れる．
- ④ 培地の入った三角フラスコを，ヒートスターラー上に置き，攪拌させながら熱を加え，培地を融解させる．このとき，アルミホイルをフラスコの口にかける（コンタミネーションの防止）．
- ⑤ 三角フラスコ内の培地が透明になったら，ヒートスターラーから三角フラスコを取る．
- ⑥ クリーンベンチもしくはキャビネット内にオートクレーブ滅菌後の培地の入った三角フラスコを入れ，シャーレを取り出し，オートピペッターを用いて三角フラスコからシャーレに培地を分注する．大シャーレへの分注量は菌数を数える場合は15 mL，菌を増殖させるだけの場合は10 mL．小シャーレへの分注量は7 mL．
- ⑦ シャーレ内の培地が固まったら，シャーレに蓋をし，培地側が上になるように置く（培地側を下にすると，培地から出た水蒸気が結露し，培地に落下してしまいます）．
- ⑧ 培地をパラフィルムで包み，ジップロックに入れ，冷蔵 4°Cで保管する．培地

## 【プロトコル】クロモカルトコリフォーム寒天培地の作成

---

をすぐ（次の日）に使用する場合は、パラフィルムに包まなくても問題ないことが多いです。それ以上は、パラフィルムに包まないと培地がダメ（コンタミネーションする）になりやすいです。